

ダム群の洪水調節 (治水)

平成9年の台風16号に見る 吉野川ダム群の 洪水調節の効果

■平成9年の台風16号の洪水調節実績

ダム名	最大流入量	最大放流量	調節量(削減量)
早明浦ダム	5,100m ³ /s	1,900m ³ /s	3,200m ³ /s
柳瀬ダム	1,100m ³ /s	800m ³ /s	300m ³ /s
新宮ダム	1,100m ³ /s	1,000m ³ /s	100m ³ /s
池田ダム	8,100m ³ /s	7,900m ³ /s	200m ³ /s

平成9年9月16日に発生した台風16号の洪水を例にとって吉野川ダム群の洪水調節の効果を見てみましょう。

早明浦ダムへの最大流量は5,100m³/秒(早明浦ダム完成後第2位の規模)となりましたが、洪水調節で水位を下げ、同時に柳瀬・新宮・池田ダムも洪水調節を行うことによって、下流域の被害を軽減しました。

■川の水位の低減効果



上流ダム群がなければ三好大橋道路高より、約8m下まで水位が上がっていたと想定される。